

## シェアサイクルの導入について

【誰でも簡単、いつでも気軽に利用できる一番身近な交通手段】

### 1. 導入目的・背景

現在、市民モニタリング事業で活用している自転車と既存のレンタサイクルを含め、シェアサイクルとして整備することで、車依存社会からの脱却を目指すとともに、環境への配慮や健康増進、ひいてはまちづくりと市街地の活性化へとつなげていく。

また、新型コロナウイルス感染拡大に配慮した3密を避ける「新しい生活様式」に対応した”新しい公共交通”に資する、With コロナの状況下においても安全・安心な市民の移動サポートを図っていく。

### 2. シェアサイクル『前橋モデル』の機能・特徴

#### (1) 利用について ※ 別紙1参照

利用方法	スマホやPCから利用登録後、自転車のQRコードを読み取り操作
決済方法	①クレジット、②現金、③交通系ICカード(②、③は前橋駅のみ)
利用時間	24時間(アプリ利用者のみ)

#### (2) 整備規模について ※ 別紙2参照

ポート数	29カ所程度(前橋駅を起点とした中心市街地に整備予定)
自転車台数	144台(電動128台、非電動16台)程度

### 3. 期待される効果

#### (1) 既存公共交通の活性化

シェアサイクルがあることで既存公共交通のハブとするとともに、MaaS 等他事業と連携することで相乗効果が期待できる。

#### (2) 利用者へのサービス活性化

既存レンタサイクルを含め、本市のシェアサイクルとして一元管理・運用することで、利用者の利便性が向上し利用率アップにつながる。

既存レンタサイクル運用時間(6:00~20:00)から、利用時間が24時間へと拡大することで市場拡大が見込まれる。

#### (3) 新しい生活様式によるニーズの増大

現在のコロナ禍における新しい生活様式の定着を鑑みると、潜在的な需要が非常に大きい。

#### 4. 業務委託の概要

##### (1) 業者選定方法

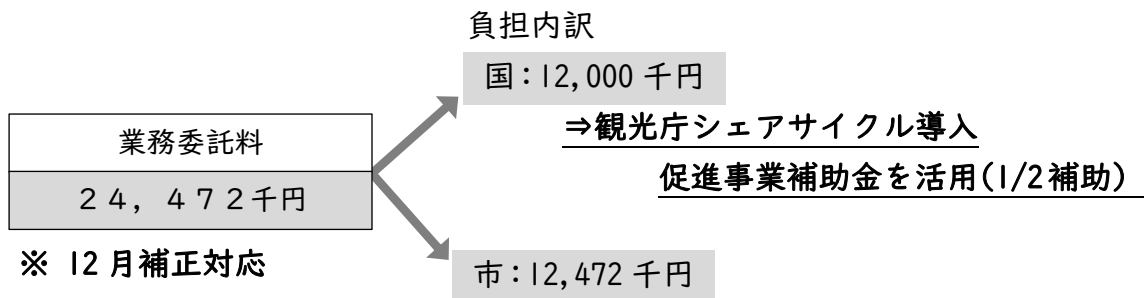
公募型プロポーザル実施予定

##### (2) 主な委託内容（運營業務は除く）

- ①配車管理システム及び決済システムに連動したロックシステムの構築
- ②貸出返却や管理、決済等多言語情報システムの制作
- ③シェアサイクル返却用ラック、ビーコン、看板設置等ポート整備（別紙 2 参照）

等

##### (3) 予算措置



#### 5. スケジュール（予定）

令和2年	11月上旬	公募型プロポーザル募集開始
	11月下旬	審査
	12月上旬	業者決定、契約締結
令和3年	1月～3月末	シェアサイクル化業務実施
	4月～6月	シェアサイクル稼働実証
	7月	シェアサイクル本格稼働